

# 「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～

(温故知新)

中国の故事は味わい

が深い。2500年前

の論語は現代文明が存

続するための極めて重

要なヒントの宝庫であ

る。7月6日の第1面

の世迷言には中国の帝

国主義的拡張政策と其

の宣伝、それに追隨し

ている韓国の告げ口外

交への批判が述べられ

ている。

欧米の列強の帝国支配

を経験した世界の多

くの国々は、欧米がこ

の歴史の反省を一步一

歩始めており、日本も

これに歩調を合わせて

いることを理解し始め

ている。インドや中国

など東洋の古典を始め

世界の古典には味わい

深いものがある。まさ

に温故知新の実践が求

められている。

(写真はかたる)

大船渡短歌会7月例

会作品評・大船渡も夏

の風物詩 盛川でアユ

漁が解禁 7月8日第

1面

海陸のきわも見えぬ霞

み喜れ下校の児らの声

にすくはる

及川智香子

田植える子らを見つ

めて戻りくる吾が幼な

日の泥の感触

金野 孝子

五葉山から流れ来る

盛川にはアユなどいろ

いろな魚が遡上してく

る。大人も子供も釣り

る。

に夢中になる。水を引

いた畔ではどじょうや

うなぎ採りに子供らは

元気な声を出しながら

夢中である。

返句

アユのぼり 腰まで川

に 親子づれ

気仙の記録く未来へ

向かう道すがらく定点

観測No.162 田と海

が一体に 陸前高田市

広田町 7月6日 第

8面

震災後三年経ちぬ甦る

田には早苗の生き生き

として

佐々木せい子

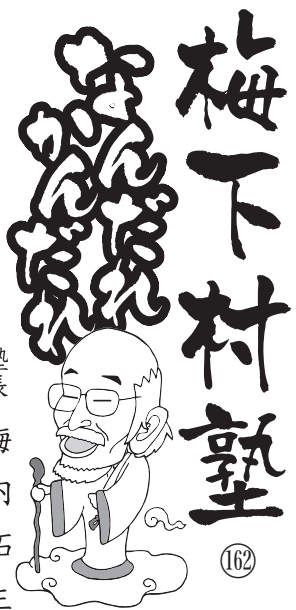
手を引かれ腰押されつ

つ来し長き道しみじみ

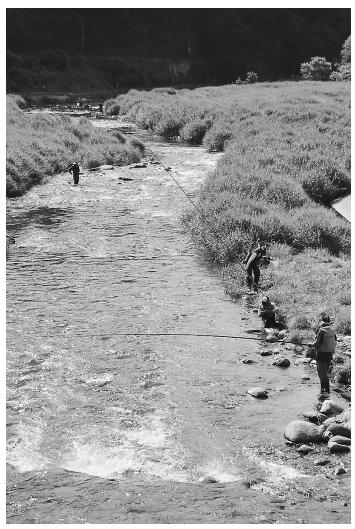
思ふ水無月の夜

千葉 みよ

千葉 みよ



塾長 梅内 拓生



水田稲作は日本の伝統文化です。あの黒い津波の水をかぶった水田の田おこしをして、見事な水田に甦させた努力には頭が下がります。水を張った夜の田を照らす月は色々な物語を奏でます。

返句

夏風や 稲田を流れ

月昇る